

資料 6 調査票様式【企業版】

卷末資料 調查票



企業対象 調査票

『宇都宮大学』に関するアンケート

宇都宮大学では「地域デザイン科学部」(仮称)の設置を構想しています。
このアンケートは人事ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。
アンケートは無記名で行い、皆様の個人情報を守ることをお約束いたします。
※このアンケートや同封した資料に記載されている「地域デザイン科学部」(仮称、設置構想中)に関する特色はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、採用にかかわっている
2. 採用の決裁権はあるが、採用にかかわっていない
3. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
4. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地 都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業 | 14. その他 |
| 5. 情報通信業 | 10. 飲食店・宿泊業 | () |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～300名未満 | 5. 1,000名以上 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 300名～1,000名未満 | |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均 名程度

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

次のページへ続く→

企業対象 調査票

Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------|---------------------|
| 1. 経済学 | 7. 農学(水産学を含む) | 13. 芸術学(美術、音楽などを含む) |
| 2. 経営・商学 | 8. 総合科学(人間科学などを含む) | 14. 看護・保健学 |
| 3. 法学 | 9. 文学・語学 | 15. 医・歯・薬学 |
| 4. 上記以外の社会科学
(社会学、観光学、地域社会学などを含む) | 10. 国際関係学 | 16. 理学 |
| 5. 工学①(建築・土木・環境工学など) | 11. 教員養成・教育学 | 17. その他() |
| 6. 工学②
(機械工学、電気・電子工学、情報工学、応用化学など) | 12. 生活科学
(食物・栄養学、児童学などを含む) | 18. 学部や学問系統にはこだわらない |

Q8. 貴社・貴団体では、どのような能力や資質のある人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 専門的な知識・技術 | 7. コミュニケーション能力 |
| 2. 幅広い教養 | 8. チームをリードする力 |
| 3. 自分から進んでものごとに取り組む力 | 9. プレゼンテーション能力 |
| 4. 困難なものごとにもチャレンジ精神をもって
取り組む力 | 10. 地域貢献・社会貢献への高い意欲 |
| 5. ものごとの問題点を見つける力 | 11. 国際的な視野 |
| 6. 問題に対し、多方面から分析し解決策を
考える力 | 12. 英語力 |
| | 13. パソコンスキル |
| | 14. その他() |

宇都宮大学では、平成28年(2016年)4月に、新しく「地域デザイン科学部」(仮称)を設置することを構想しています。
※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q9. 宇都宮大学「地域デザイン科学部」(仮称、設置構想中)に設置予定の3学科、「コミュニティデザイン学科」「都市建築デザイン学科」「社会環境デザイン学科」(すべて仮称、設置構想中)には以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。
ご回答者様の業務とは関連が全くなく、評価できない特色につきましては「4」に○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	魅力を感じない	自分の業務とは関連がないのでわからない
	例. ○○である。	→ 1	2	3	4
デ ザ イ ン 学 科	A 社会科学(法学、経済学など)の専門知識と、調査・分析等に有効な理系の分析スキル(統計処理入門など)を学びます。	→ 1	2	3	4
	B たとえば、災害に強く高齢社会を支えるまちづくりを計画・提案できる能力が身につきます。	→ 1	2	3	4
	C 住民の意見を調整し計画を実現する力を培うことで、地域をリードする人材としての能力が身につきます。	→ 1	2	3	4

資料 7 要望書【(公)栃木県経済同友会】

平成27年 3月17日

国立大学法人宇都宮大学
学長 進村 武男 様

公益社団法人栃木県経済同友会
筆頭代表理事 板橋 敏雄



本県経済産業界の振興強化に関する要望と連携教育の承諾書

日頃から、本県経済産業界に対する様々なご協力に感謝申し上げます。

さて、本県におきまして地域創生への取組は最重要課題であり、持続可能な地域振興を多角的に担える人材確保が重要かつ喫緊の課題であると認識しています。

このたび、宇都宮大学において構想されている地域デザイン科学部（仮称）の設置目的は、まさに本県の地域創生を推進する上で待望の学部・学科構想であります。

本県も超高齢化・人口減少・災害・地域環境問題などに直面する中、持続可能な魅力ある地域づくりに取り組んでおりますが、宇都宮大学が、新学部構想にありますコミュニティ、都市建築、社会基盤の専門性に加え国際性や多様な分析力を備え、かつ本県の現状を総合的に俯瞰できる素養を持った人材を輩出され、本県行政・経済界等に還元されることは、本県にとりましても是非早期にお取り組みいただきたく、本構想を全面的に支持いたします。また、教育の実施に当たっては、貴学学生の受け入れや実践的講義への講師派遣等、可能な限り必要な連携・協力をして参る所存です。

更に、貴学による新しい地域づくりの取組が国内の他の産業界が抱える地域振興策のモデルケースとなり地域経済産業の活性化に資するものと大きな期待を寄せるものであります。

つきましては、これまでも県内唯一の国立大学として学長をはじめ農学・工学・教育・国際の各分野において多くのご協力をいただいているところですが、本県経済産業界へのご貢献を一層積極的にお進めいただくとともに、新学部構想の早期実現を強く要望します。

末筆ではありますが、宇都宮大学のますますのご発展をご祈念申し上げます。